

地域医薬連携における医薬品の適正使用に関する検討特別委員会

目 次

地域医薬連携における医薬品の適正使用に関する検討特別委員会報告書

- I. 目 的
- II. 方 法
- III. アンケート調査の概要
- IV. アンケート調査結果
- V. 過去のアンケート調査との比較
- VI. 研 修 会 の 開 催
- VII. ま と め

地域医薬連携における医薬品の適正使用に関する検討特別委員会

(平成 22 年度)

地域医薬連携における医薬品の適正使用に関する検討特別委員会報告書

広島県地域保健対策協議会 地域医薬連携における医薬品の適正使用に関する検討特別委員会

委員長 木平 健治

I. 目 的

平成 4 年の医療法改正により医療提供の基本理念が規定された。その中で、「医療を受ける者の居宅」は「医療提供の場」とされ「在宅医療」は一般に認知されることとなった。

その後、平成 12 年には介護保険制度が導入され、患者が居宅において医療・介護のサービスを受ける「在宅医療」は、今では医療の一形態として定着している。

在宅医療においては、薬物療法が重要な役割を果たしているが、不適切な取扱いによる医薬品の品質低下や、誤った使用による健康被害などの問題点が、従前より指摘されているところである。

そこで、当委員会では、薬剤師の在宅医療への参画を更に進めるため、課題の把握およびその対策の検討を行った。

II. 方 法

広島県薬剤師会で設置したサブワーキンググループからの提案に基づき、在宅医療関係者を対象としたアンケート調査を実施し、在宅患者における薬物療法の現状と課題を把握することとした。

また、在宅医療に参画する薬剤師への要望について、多職種が討議する研修会を開催した。

- 1 委員会
計 3 回開催
- 2 サブワーキンググループ
計 7 回開催
- 3 研修会
平成 23 年 3 月 14 日（月） 19 時～
広島県薬剤師会館 4 階大研修室

III. アンケート調査の概要

- 1 アンケート調査期間
平成 22 年 11 月～12 月
- 2 アンケート調査対象および調査方法
 - (1) 調査対象
呉地区、廿日市地区、尾道地区、三次地区の 4 地区に所在する次の施設の関係者
計 1,858 件
ア 医療機関の医師、歯科医師
…医 師 474 件
…歯科医師 297 件
イ 訪問看護ステーションの看護師
… 160 件
ウ 薬局の管理薬剤師
… 336 件
エ 地域包括センター又は居宅介護支援事業所のケアマネジャー（以下「ケアマネ」という。）、利用者（在宅患者）およびその介護者（家族など）
… 各 197 件
 - (2) 調査方法
各施設に郵送でアンケートを送付、回収（患者および介護者については、ケアマネが手交、回収）
 - (3) 調査内容
別紙調査用紙のとおり

IV. アンケート調査結果

- 1 回収率
回収率は表 1 のとおりであった。

表1 アンケート回収率

対象	送付数	回答数	回収率
医師	474	206	43.5%
歯科医師	297	83	27.9%
看護師	160	79	49.4%
薬剤師	336	230	68.5%
ケアマネ	197	56	28.4%
患者	197	51	25.9%
介護者	197	52	26.4%
計	1,858	757	40.7%

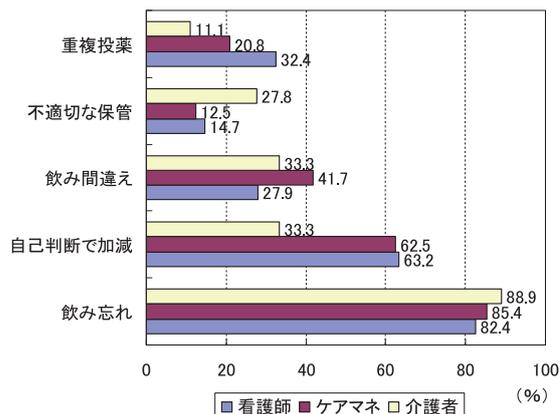


図4 患者の薬について問題だと思うこと

2 調査結果

(1) 患者の服薬状況について

患者は76.5%が「指示どおり飲んでいる」と回答しているのに対し、「指示どおり飲んでいると思う」と回答した医師・歯科医師は17.1%となっていた。

また、看護師・ケアマネの86.0%が「患者の薬の使用・管理に問題がある」と回答しており、患者と医療関係者との認識にずれが見られる。

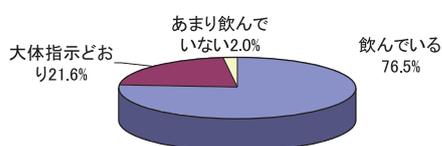


図1 薬は指示どおり飲んでいるか (患者)

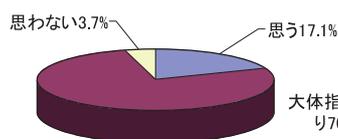


図2 患者は薬を指示どおり飲んでいると思うか (医師・歯科医師)

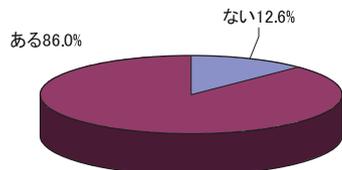


図3 患者の薬の使用・管理状況に問題があると思うか (看護師・ケアマネ)

図3において「ある」と回答した者に問題点を質問したところ、「薬の飲み忘れ」「薬の飲み間違え」「自己判断で薬を加減」と回答した割合が高かった。

(2) 副作用について

在宅患者の薬物療法における副作用については、在宅医療を行っている医師の31.6%が「経験がある」と回答した。

副作用を発見するきっかけは、薬剤師や看護師からの情報よりも、患者本人や介護者からの情報による場合が多い。

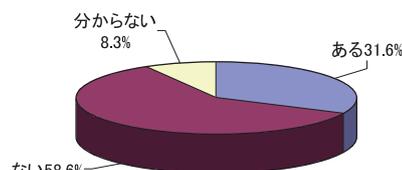
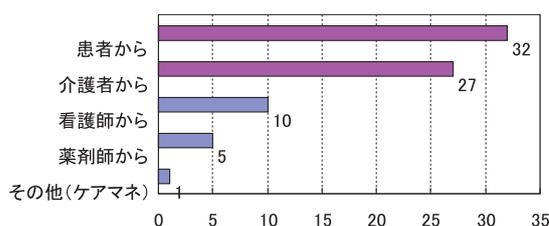


図5 在宅患者で副作用が起きたことがあるか (医師)



※図5で「ある」と回答した医師42名の回答

図6 副作用が起きたとき、誰から情報を入手して発見したか (医師)

一方、患者や介護者は、看護師やケアマネと比較して、身体に現れる症状を副作用と疑う割合が低かった。

患者や介護者の訴えがないために、実際に副作用が起きているにもかかわらず、医師が見逃す可能性がある。

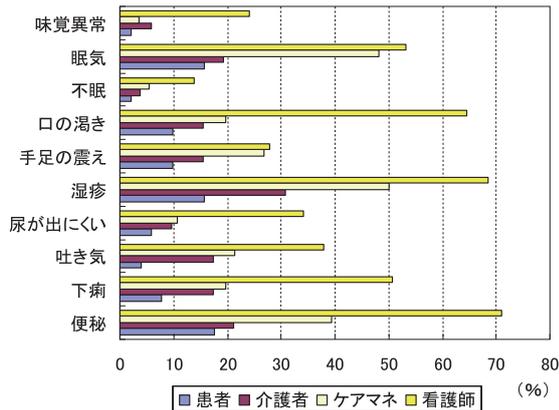


図7 副作用を疑うのはどんな症状か

(3) 薬剤師による訪問薬剤管理指導の認知度

薬剤師の訪問薬剤管理指導については、歯科医師・患者および介護者では、8割以上が「知らない」と回答した。

一方、医師・看護師およびケアマネでは認知度が高かったが、看護師・ケアマネの半数弱は、薬に関して相談できる薬剤師が「いない」と回答していた。

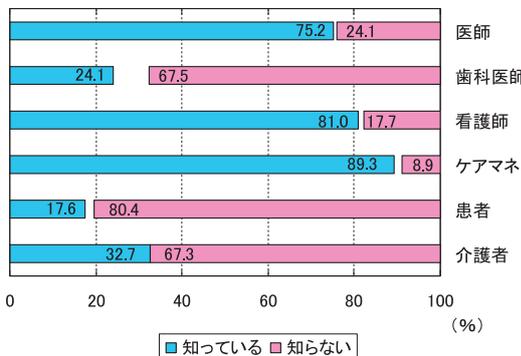


図8 薬剤師の訪問薬剤管理指導を知っているか

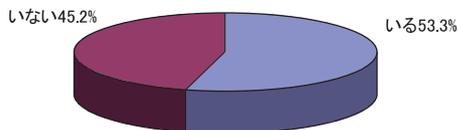


図9 薬に関して相談できる薬剤師がいるか (看護師・ケアマネ)

図10に示すように、ほとんどの薬局が訪問薬剤管理指導ができることを積極的に広報しておらず、これが、前問で訪問薬剤管理指導を行う薬剤師の存在が、歯科医師・患者および介護者に知られていないこと、また、医師・看護師およびケアマネが薬に関して相談できる薬剤師が「いない」と回答している要因となっている可

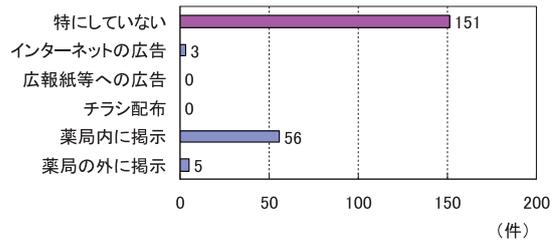


図10 訪問薬剤管理ができる薬局であることを広報しているか (薬剤師) ※複数回答

能性がある。

(4) 薬剤師が在宅医療に参画できない理由

薬剤師がなかなか在宅医療の現場に出て行けない理由の一つは、医師の指示や患者などの要望がないことである。

一方、薬剤師側の問題もある。図12において「参画したいができない」「参画したくない」と回答した薬剤師が過半数を占めており、その理由として、特に1人薬剤師の薬局において、人員・時間に余裕がないという回答が多かった。

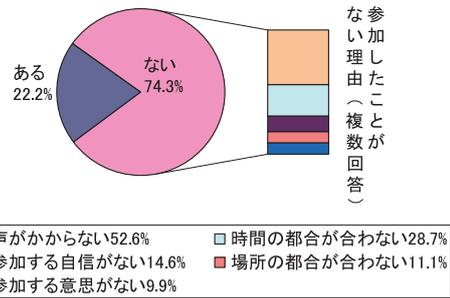


図11 ケアカンファレンスに参加したことがあるか (薬剤師)

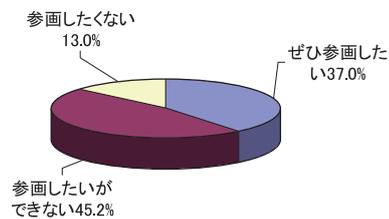


図12 在宅医療に積極的に参画したいか (薬剤師)

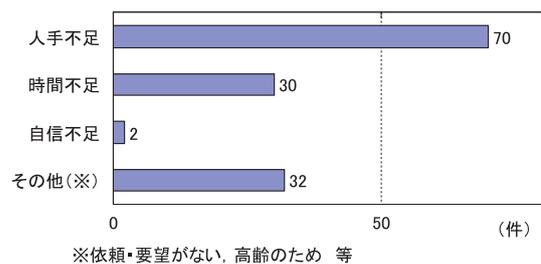


図13 参画したくない (できない) 理由 (薬剤師) ※複数回答

(5) 薬剤師への期待

薬剤師にもっと関わってほしいと思う割合は、薬剤師による訪問薬剤管理指導の認知度との相関性が見られる。

また、訪問した薬剤師の業務として、医師が最も期待するのは「使い方の指導」(74.5%)、看護師・ケアマネ・患者が最も期待するのは「副作用の説明」(それぞれ83.3%、78.3%、62.5%)、介護者が最も期待するのは「効能効果の説明」(75.0%)であった。

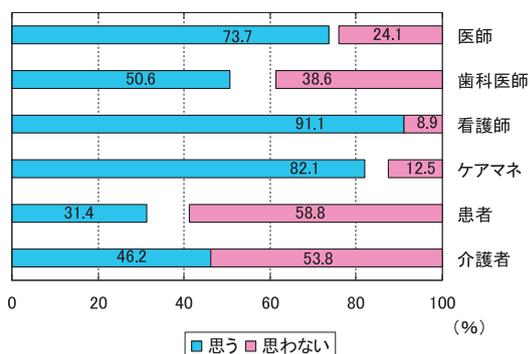


図14 在宅患者の薬剤管理についてもっと薬剤師に関わってほしいと思うか

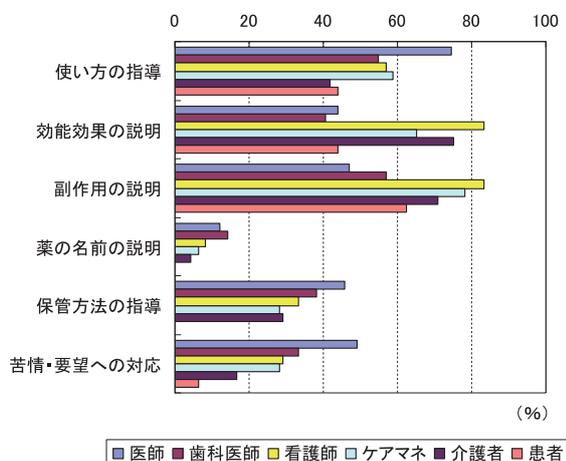


図15 薬剤師の訪問で期待すること
※複数回答

V. 過去のアンケート調査との比較

在宅患者の薬物療法に関するアンケートは、当協議会で、介護保険制度導入後間もない平成14年度にも実施している。

調査対象はケアマネを除き今回の調査対象とほぼ同じであることから、同様の設問に対する回答状況を比較した。

1 在宅医療の進展状況

在宅医療を行っている医師の割合は63.1%（前回57.3%）であり、微増していた。

一方、訪問薬剤管理指導に関与した薬剤師は18.3%（前回29.0%）であり、僅かに減少していた。

また、薬剤師に訪問薬剤管理指導を指示したことがある医師の割合は17.3%（前回20.5%）であり、減少していた。

2 患者の服薬状況

患者が「指示どおり薬を飲んでいる」と回答した割合は76.5%（前回73.7%）であった。

一方、医師・歯科医師が「患者が指示どおり薬を飲んでいる」と回答したのは17.1%（前回45.6%）であった。

前回と変わらず、患者と医師・歯科医師の服薬状況への認識にずれがあるが、患者が服薬遵守していないと判断している医師・歯科医師の割合が増加していた。

また、薬剤の使用・管理に関する問題についての看護師の回答を比較すると、前回も今回も、最も多いのは「飲み忘れ・飲み間違い」74.7%（前回69.4%）であり、次いで「自己判断で服用」54.4%（前回61.1%）、「使用法を理解していない」35.4%（前回50.0%）、「服薬管理をしていない」34.2%（前回47.2%）、「重複投薬」27.8%（前回27.8%）などであった。

3 薬剤師による訪問薬剤管理指導の認知度

薬剤師による訪問薬剤管理指導について、「知っている」と回答した割合を見ると、医師75.2%（前回84.9%）、歯科医師24.1%（前回11.8%）、看護師81.0%（前回83.3%）、介護員32.7%（前回65.2%）であった。

医師および看護師にあっては、ほぼ同じ水準で、高い割合で認知されている。

歯科医師については、前回70%以上が未回答であったため、単純に比較できない。

また、介護員の認知度は前回調査よりも下がっているが、今回は前回の調査対象である居宅介護支援事業所の介護員に加え家族も対象としたためと考えられる。しかし、何れにしても実際に最も患者の近くにいる介護員や家族の認知度が低く、在宅医療において薬剤師を活用するためにも、何らかの啓発活動が必要と思われる。

4 薬剤師への期待

副作用と思われる症状を発見したときの対応として、「薬剤師に相談する」と回答した割合は、看護師17.7%（前回8.3%）、介護者13.5%（前回0.0%）であり、薬剤師に相談する割合は増加している。

また、薬剤師にもっと関わってほしい（制度を利用したい）と回答している患者の割合は、前回の18.1%から31.4%と増加している。

Ⅵ. 研修会の開催

アンケート調査結果を踏まえ、在宅医療関係者を対象とした研修会を開催した。

1 日 時

平成23年3月14日（月）19時から

2 場 所

広島県薬剤師会館（広島市中区富士見町11-42）

3 参加者

105名（医師、歯科医師、薬剤師、看護師、ケアマネなど）

4 内 容

「在宅医療と薬剤師～他職種が本音で語る薬剤師への要望～」と題し、アンケート調査結果の報告を行った。その後、調査対象職種の代表（患者および介護者は看護師による代弁）が、日頃の経験を交えながら薬剤師への提言、要望を述べた。

Ⅶ. ま と め

今回の調査により、在宅患者の薬物療法には、飲み間違いや自己判断の服用など、まだ問題点が多いことがわかり、在宅医療への薬剤師の参画の必要性を再認識することとなった。

また、薬剤師による訪問薬剤管理指導の認知度は職種により差があり、認知度の高い職種ほど、薬剤師の参画への期待が大きいという結果となっている。

一方で、薬剤師の在宅医療への参画は、十分とはいえない現状があることも分かった。

その要因として、患者や家族、介護者など一般的に認知度が低いこと、また、薬剤師自身が参画に消極的であることがあげられる。

今後、さらに進展することが予想される在宅医療で薬剤師が医療チームの一員として貢献するためには、「薬のことは薬剤師に」という認識を深めてもらえるよう広報をするとともに、他職種からの信頼とともに患者からも信頼され、必要とされる薬剤師となるよう、薬剤師自身がいっそう努力し、在宅医療に積極的に参画することが必要である。

終わりに、調査研究の実施に御協力いただいた（社）広島県薬剤師会サブワーキンググループ委員の皆様、NPO法人広島県介護支援専門員協会、研修会に御参加いただいた各発言者の皆様に感謝いたします。

広島県地域保健対策協議会
地域医薬連携における医薬品の適正使用に関する検討特別委員会

研修会

「在宅医療と薬剤師 ～他職種が本音で語る薬剤師への要望～」

開催日時：平成23年3月14日(月)午後7時

開催場所：広島県薬剤師会館 4F 講堂

1. 開 会

広島県医師会 常任理事 有 田 健 一

2. アンケート結果報告及びパネルディスカッション

座長： 広島大学病院薬剤部教授 木 平 健 治

アンケート報告 広島県薬剤師会 理事 豊 見 敦

発 言 者

佐伯地区医師会 理事 木 村 泰 博

広島県歯科医師会 公衆衛生部 常任委員 佐々木 直

広島県看護協会訪問看護ステーション「若草」所長 川 上 幸 子

広島県看護協会訪問看護ステーション「若草」緩和ケア認定看護師
高 瀬 真由美

NPO 法人広島県介護支援専門員協会 副理事長兼ケアマネ相談室長
名 越 静 香

広島市薬剤師会 理事 坂 本 徹

3. 閉 会

広島県医師会 常任理事 有 田 健 一

在宅患者の薬物療法に関するアンケート

所在地の市・町名: 標榜科:

◎ 該当する番号に○を付けてください。「その他」を選ばれた場合は、()内にその内容を具体的に記入してください。

- 1 在宅医療の経験年数
① 0年 ② 3年未満 ③ 3～5年未満 ④ 5～10年未満 ⑤ 10年以上
- 2 在宅医療を行っている患者の人数
① 0人 ② 1～9人 ③ 10～19人 ④ 20～29人 ⑤ 30～39人 ⑥ 40～49人
⑦ 50人以上
- 3 介護保険の「医師の意見書」で、「訪問薬剤管理指導が必要」と書いたことがありますか。
① ある ② ない

- 4 (1) 在宅患者訪問薬剤管理指導・薬剤師居宅療養管理指導を指示したことがありますか。
① ある ② ない
- (2) (1)で①を回答された方にお尋ねします。それはどのような患者ですか。
① 麻薬を施用する患者 ② 向精神薬を施用する患者
③ 本人・家族が薬剤を管理できない患者
④ その他()

- 5 (1) 患者が複数の医療機関に受診しているかどうかを把握していますか。
① 全て把握している ② だいたい把握している ③ 把握していない
- (2) (1)で①、②を回答された方にお尋ねします。患者が医療機関から処方されている薬について、全て把握していますか。
① 全て把握している ② だいたい把握している ③ 把握していない
- (3) (2)で①、②を回答された方にお尋ねします。患者の薬について把握するために、お薬手帳を活用していますか。
① はい ② いいえ

- 6 (1) 自分が患者に処方した薬の服薬状況を把握していますか。
① 全て把握している ② だいたい把握している ③ 把握していない
- (2) (1)で①、②を回答された方にお尋ねします。患者の服薬状況は、どのようにして把握していますか。
① 患者に聴き取っている ② 薬剤師を介して把握している
③ 看護師を介して把握している ④ 介護者(家族含む)を介して把握している
⑤ その他()

- 7 (1) 患者は、指示どおり薬を飲んでいていると思いますか。
① 思う ② だいたい指示どおり飲んでいていると思う ③ 思わない
- (2) (1)で②、③を回答された方にお尋ねします。指示どおり飲んでいない理由は何ですか。(複数回答可)
① 飲み忘れている ② 飲み間違えている ③ 飲みにくいからと飲んでいない
④ 飲み方や薬の種類がよく分かっていない ⑤ 効かないと判断して飲むのを止めている
⑥ 症状が良くなったと判断して飲むのを止めている
⑦ 薬の量が多いからと飲むのを止めている
⑧ その他、自分で薬の飲み方を判断している
⑨ その他()

- 8 (1) 在宅患者の薬物療法で、困ったことがありますか。
① ある ② ない ③ よく分からぬ
- (2) (1)で①を回答された方にお尋ねします。それはどのようなことですか。(複数回答可)
① 患者が指示どおり薬を飲まない ② 薬の保管方法等がずさん
③ 他の医療機関から処方された薬の内容が把握できない
④ 重複投薬や併用すると副作用の出る薬のチェックができない
⑤ その他()

- 9 (1) 在宅患者の薬物療法で、副作用が起きたことがありますか。
① ある ② ない ③ よく分からぬ
- (2) (1)で①を回答された方にお尋ねします。それはどのようにして発見されましたか。
① 患者に聴き取った ② 薬剤師を介して発見した ③ 看護師を介して発見した
④ 介護者(家族含む)を介して発見した
⑤ その他()

- 10 他職種と連携はありますか(ケアカンファレンス等)。
① ある ② ない
- 11 薬剤師の訪問薬剤管理指導についてご存知ですか。
① 知っている ② 知らない

- 12 (1) 薬剤師がもつ在宅患者の薬物管理に関わってほしいと思いますか。
① 思う ② 思わない
- (2) (1)で①を回答された方にお尋ねします。どんな患者について、薬剤師に関わってほしいですか。
① 麻薬を施用する患者 ② 向精神薬を施用する患者
③ 本人・家族が薬を管理できない患者
④ その他()

(3) (1)で①を回答された方にお尋ねします。薬剤師が訪問するとしたら、何を期待しますか。
(複数回答可)

- ① 薬の使い方の指導 ② 薬の効能効果の説明 ③ 薬の副作用の説明
④ 薬の名前の説明 ⑤ 薬の保管方法の指導 ⑥ 薬に関する要望・苦情への対応
⑦ その他()

(4) (1)で②を回答された方にお尋ねします。薬剤師による訪問薬剤管理指導を必要と思わない理由は何ですか。

13 在宅患者の薬剤管理に関して、自由に意見をお書きください。

在宅患者の薬物療法に関するアンケート

所在地の市・町名:

◎ 該当する番号に○を付けてください。「その他」を選ばれた場合は、()内にその内容を具体的に記入してください。

- 1 在宅医療の経験年数
① 0年 ② 3年未満 ③ 3～5年未満 ④ 5～10年未満 ⑤ 10年以上
- 2 在宅医療を行っている患者の人数
① 0人 ② 1～9人 ③ 10～19人 ④ 20～29人 ⑤ 30～39人 ⑥ 40～49人
⑦ 50人以上
- 3 訪問歯科診療時に薬を処方することがありますか。
① ある ② ない
- 4 (1) 在宅患者訪問薬剤管理指導・薬剤師居宅療養管理指導を指示したことがありますか。
① ある ② ない
- (2) (1)で①を回答された方にお尋ねします。それはどのような患者ですか。
① 麻薬を服用する患者 ② 向精神薬を服用する患者
③ 本人・家族が薬剤を管理できない患者
④ その他()
- 5 (1) 患者が複数の医療機関に受診しているかどうかを把握していますか。
① 全て把握している ② だいたい把握している ③ 把握していない
- (2) (1)で①、②を回答された方にお尋ねします。患者が医療機関から処方されている薬について、全て把握していますか。
① 全て把握している ② だいたい把握している ③ 把握していない
- (3) (2)で①、②を回答された方にお尋ねします。患者の薬について把握するために、お薬手帳を活用していますか。
① はい ② いいえ
- 6 訪問歯科診療時に、患者の服用している薬に関する問い合わせをすることがありますか。
① ある ② ない
- 7 (1) 自分が患者に処方した薬の服薬状況を把握していますか。
① 全て把握している ② だいたい把握している ③ 把握していない

(2) (1)で①、②を回答された方にお尋ねします。患者の服薬状況は、どのようにして把握していますか。

- ① 患者に聞き取っている ② 薬剤師を介して把握している
 ③ 看護師を介して把握している ④ 介護者(家族含む)を介して把握している
 ⑤ その他()

8 (1) 患者は、指示どおり薬を飲んでいると思いませんか。

- ① 思う ② だいたい指示どおり飲んでいると思う ③ 思わない

(2) (1)で②、③を回答された方にお尋ねします。指示どおり飲んでいない理由は何ですか。(複数回答可)

- ① 飲み忘れている ② 飲み間違えている ③ 飲みにくいからと飲んでいない
 ④ 飲み方や薬の種類がよく分かっていない ⑤ 効かないと判断して飲むのを止めている
 ⑥ 症状が良くなかったと判断して飲むのを止めている
 ⑦ 薬の量が多いためと飲むのを止めている
 ⑧ その他、自分で薬の飲み方を判断している
 ⑨ その他()

9 (1) 在宅患者の薬物療法で、困ったことがありますか。

- ① ある ② ない ③ よく分からぬ

(2) (1)で①を回答された方にお尋ねします。それはどのようなことですか。(複数回答可)

- ① 患者が指示どおり薬を飲まない ② 薬の保管方法等がずさん
 ③ 他の医療機関から処方された薬の内容が把握できない
 ④ 重複投薬や併用すると副作用の出る薬のチェックができない
 ⑤ その他()

10 (1) 在宅患者の薬物療法で、副作用が起きたことがありますか。

- ① ある ② ない ③ よく分からぬ

(2) (1)で①を回答された方にお尋ねします。それはどのようにして発見されましたか。

- ① 患者に聞き取った ② 薬剤師を介して発見した ③ 看護師を介して発見した
 ④ 介護者(家族含む)を介して発見した
 ⑤ その他()

11 他職種と連携はありますか(ケアカンファレンス等)。

- ① ある ② ない

12 薬剤師の訪問薬剤管理指導についてご存知ですか。

- ① 知っている ② 知らない

13 (1) 薬剤師がもつ在宅患者の薬剤管理に関わってほしいと思いませんか。

- ① 思う ② 思わない

(2) (1)で①を回答された方にお尋ねします。どんな患者について、薬剤師に関わってほしいですか。

- ① 麻薬を施用する患者 ② 向精神薬を施用する患者
 ③ 本人・家族が薬を管理できない患者
 ④ その他()

(3) (1)で①を回答された方にお尋ねします。薬剤師が訪問するとしたら、何を期待しますか。(複数回答可)

- ① 薬の使い方の指導 ② 薬の効能効果の説明 ③ 薬の副作用の説明
 ④ 薬の名前の説明 ⑤ 薬の保管方法の指導 ⑥ 薬に関する要望・苦情への対応
 ⑦ その他()

(4) (1)で②を回答された方にお尋ねします。薬剤師による訪問薬剤管理指導を必要と思わない理由は何ですか。

14 在宅患者の薬剤管理に関して、自由に意見をお書きください。

在宅患者の薬物療法に関するアンケート

所在地の市・町名:

◎ 該当する番号に○を付けてください。「その他」を選ばれた場合は、()内にその内容を具体的に記入してください。

- 1 麻薬の取扱いがありますか。
 ① ある ② 免許はあるが取扱ったことはない ③ ない
- 2 在宅患者の自宅に薬を配達したことがありますか。
 ① ある ② ない
- 3 在宅患者に現在行っているものは何ですか。(複数回答可)
 ① 薬の配達 ② 訪問薬剤管理指導 ③ 服薬に関する相談
 ④ 薬の保管管理に関する指導 ⑤ 薬歴管理 ⑥ 居宅の衛生管理に関する指導
 ⑦ 介護用品の相談応需
 ⑧ その他()
- 4 居宅での薬の管理について、関係者から相談を受けたことがありますか。(複数回答可)
 ① 医師 ② 歯科医師 ③ 保健師・看護師 ④ 介護員 ⑤ 患者・家族
 ⑥ ケアマネジャー
 ⑦ その他()
- 5 在宅患者から薬に関することによく聞かれるのは、どんなことですか。(複数回答可)
 ① 飲み方・使い方 ② 効能効果 ③ 副作用 ④ 名前 ⑤ 保存方法
 ⑥ 要望・苦情
 ⑦ その他()
- 6 在宅患者の薬に関する問題は、どんなことですか。(複数回答可)
 ① 薬を飲みたがらない ② 薬が飲みにくい ③ 服用時点を間違える
 ④ 服用量を間違える ⑤ 使い方を間違える ⑥ 患者自身の判断で勝手に服用する
 ⑦ その他()
- 7 (1) 在宅患者で経験された副作用事例は、どんなものですか。(複数回答可)
 ① 便秘 ② 下痢 ③ 吐き気 ④ 尿が出にくい ⑤ 湿疹 ⑥ 手足の震え
 ⑦ 口の渇き ⑧ 不眠 ⑨ 眠気 ⑩ 味覚異常
 ⑪ その他()
- (2) (1)で回答された方にお尋ねします。その原因は何でしたか。(複数回答可)
 ① 重複投薬によると思われるもの ② 複数薬剤における相互作用によると思われるもの
 ③ 単独の薬剤によるもの ④ 薬剤の誤用によると思われるもの
 ⑤ その他()
- (3) (1)で回答された方にお尋ねします。その時、どのように対応されましたか。

- 8 (1) 薬局での業務中(会話等)、訪問薬剤管理指導が必要だと感じられる患者がいましたか。
 ① いた ② いなかった
- (2) (1)で①を回答された方にお尋ねします。その時、どのように対応されましたか。
 ① 主治医に連絡し、指示を出してもらった
 ② 患者本人又は家族に、薬剤師の訪問指導の制度があることについて説明した
 ③ その他()
- 9 (1) 医療関係者以外から、在宅患者訪問薬剤管理指導・薬剤師居宅療養管理指導を求められたことがありますか。
 ① ある ② ない
- (2) (1)で①を回答された方にお尋ねします。誰から依頼されましたか。
 ① ケアマネジャー ② 介護員等(家族含む)
 ③ その他()
- 10 最近1年間(平成21年11月～平成22年10月)で、訪問薬剤管理指導を実施したことがありますか。
 ① ある ② 保険適用しているもの()件、保険適用していないもの()件
 ③ していない
- 11 (1) 在宅医療について、積極的に参画したいですか。
 ① ぜひ参画したい ② 参画したいができない ③ 参画したくない
 ④ 対応できない ⑤ 対応できない
- (2) (1)で②、③を回答された方にお尋ねします。その理由は何ですか。
 ① 現に対応している ② 過去に対応しており、できる ③ 対応したことはないが、できる
 ④ 対応できない
- 12 (1) 医師から訪問の指示(依頼)があったとき、対応できますか。
 ① 現に対応している ② 過去に対応しており、できる ③ 対応したことはないが、できる
 ④ 対応できない
- (2) (1)で④を回答された方にお尋ねします。できない理由は何ですか。(複数回答可)
 ① 訪問薬剤管理指導の届出はしているが、自信がない
 ② 訪問薬剤管理指導の届出はしているが、人員の余裕がない
 ③ 訪問薬剤管理指導の届出はしているが、業務の時間が合わない
 ④ 訪問薬剤管理指導の届出をしていない
 ⑤ その他()
- 13 訪問可能な時間帯はいつですか。(開局時間内・随時可能 等)

- 14 訪問可能な範囲はどのくらいですか。
 ① 徒歩()分以内 ② 車で()分以内 ③ 制限なし
 ④ その他()
- 15 在宅医療に関する知識の習得に努めていますか。(複数回答可)
 ① 研修の受講 ② 通信教育の利用 ③ 専門書籍(雑誌)
 ④ その他()
 ⑤ 特に努めていない
- 16 薬局で、介護用品(オムツ・寝衣・寝具・車椅子・介護食等)を提供していますか。
 ① 薬局に常時陳列 ② 陳列はないが、注文を受け付け取り寄せ ③ 提供していない
- 17 薬局で介護用品を提供できることを広報していますか。(複数回答可)
 ① 薬局の外に掲示 ② 薬局内に掲示 ③ チラシ配布 ④ 広報紙等への広告
 ⑤ インターネット広告
 ⑥ その他()
 ⑦ 特にしていない
- 18 訪問薬剤管理指導ができる薬局であることを広報していますか。(複数回答可)
 ① 薬局の外に掲示 ② 薬局内に掲示 ③ チラシ配布 ④ 広報紙等への広告
 ⑤ インターネット広告
 ⑥ その他()
 ⑦ 特にしていない
- 19 (1) ケアカンファレンスに参加したことがありますか。
 ① ある ② ない
- (2) (1)で②を回答された方にお尋ねします。参加したことがない理由は何ですか。(複数回答可)
 ① 声がかからない ② 開催時間が都合に合わない ③ 開催場所が都合に合わない
 ④ 在宅医療に参画する自信がない ⑤ 在宅医療に参画する意思がない
 ⑥ その他()
- 20 在宅患者について、どのような他職種の人と連携していますか。(複数回答可)
 ① 医師 ② 歯科医師 ③ 保健師・看護師 ④ 介護員
 ⑤ その他()
 ⑥ 連携していない
- 21 在宅患者の薬の管理について、ケアマネジャーと相談したことがありますか。
 ① ある ② ない
- 22 訪問薬剤管理指導を行う上で困る点は何ですか。(複数回答可)
 ① 患者や家族からの要望がない ② 医師からの指示が出ない
 ③ 患者から拒否される ④ 1人薬剤師等の理由で訪問が無理
- ⑤ 患者情報が入手できない
 ⑥ その他()
- 23 在宅医療参画に関して、薬剤師会に実施してほしいことは何ですか。(複数回答可)
 ① 事例研修会の開催 ② 近隣薬局とのネットワーク構築 ③ 他職種との連携構築
 ④ 社会的認知度の向上
 ⑤ その他()
- 24 在宅患者の薬剤管理に関して、自由に意見をお書きください。

在宅患者の薬物療法に関するアンケート

所在地の市・町名: 職種: 看護師 保健師 介護員 その他()

◎ 該当する番号に○を付けてください。「その他」を選ばれた場合は、()内にその内容を具体的に記入してください。

- 1 在宅医療の経験年数
 ① 3年未満 ② 3～5年未満 ③ 5～10年未満 ④ 10年以上
 ⑤ 0人 ⑥ 1～9人 ⑦ 10～19人 ⑧ 20～29人 ⑨ 30～39人 ⑩ 40～49人
 ⑪ 50人以上
- 2 (1) あなたが訪問している患者は何人ですか。
 ()人
- 3 (1) 患者が医療機関から処方されている薬について、全て把握していますか。
 ① 全て把握している ② だいたい把握している ③ 把握していない人もいる
 ④ 全く把握していない
- (2) (1)で①以外を回答された方にお尋ねします。そのうち、薬剤師の訪問薬剤管理指導を受けている人は何人ですか。
 ()人
- 4 患者の薬の効果や副作用について、誰から説明を受けていますか。
 ① 医師・歯科医師 ② 薬剤師 ③ 事業所の管理者 ④ 患者本人又は家族
 ⑤ 誰からも説明を受けていない
 ⑥ その他()
- 5 (1) 患者の薬の使用・管理の状況について、問題だと思っておりますか。
 ① ある ② ない
- (2) (1)で①を回答された方にお尋ねします。それはどんなことですか。(複数回答可)
 ① 飲み忘れている ② 飲み間違えている
 ③ 自分の判断で回数や薬の量を加減している ④ 薬が飲みにくい
 ⑤ 患者又は家族が使用方法について正しく理解していない ⑥ 薬の保管が適切でない
 ⑦ 患者又は家族が薬の管理・服薬の確認をしていない(できない)
 ⑧ 複数の医療機関から、重複して薬をもらっている
 ⑨ 保健師・看護師・介護員等の助言を聞き入れない
 ⑩ その他()
- 6 患者に処方されている薬の効果・副作用等について、理解していますか。
 ① 十分理解している ② ある程度理解している ③ あまり理解していない

- 7 薬の副作用を疑うのは、どんな症状ですか。(複数回答可)
 ① 便秘 ② 下痢 ③ 吐き気 ④ 尿が出にくい ⑤ 通疹 ⑥ 手足の震え
 ⑦ 口の渇き ⑧ 不眠 ⑨ 眠気 ⑩ 味覚異常
- 8 副作用と思われる症状を発見した時に、どのように対応しますか。
 ① 医師に相談 ② 薬剤師に相談 ③ その他()に相談
 ④ 訪問者の判断で処置
 ⑤ その他()
- 9 副作用発生時の対応で、日頃困っていること、難しいことは何ですか。
- 10 他職種と連携はありますか(ケアカンファレンス等)。
 ① ある ② ない
- 11 粉碎や、簡易懸濁法にしてはいけない薬があることを知っていますか。
 ① 知っている ② 知らない
- 12 飲みにくい薬を粉碎したり、懸濁したりする場合は、誰が行いますか。
 ① 医師・歯科医師 ② 薬剤師 ③ 保健師・看護師又は介護員(自ら)
 ④ その他()
- 13 医師から処方された薬と、店で買った一般医薬品、サプリメント、健康食品等との飲み合わせを、相談したことがありますか。
 ① 薬剤師に相談したことがある ② 医師に相談したことがある
 ③ 薬剤師以外()に相談したことがある ④ 相談したいが適当な人がいない
 ⑤ 相談する必要があると感じない
- 14 薬剤師に相談するのは、どんな時ですか。(複数回答可)
 ① 薬が飲みにくい時 ② 薬を飲んで体調が変わった時 ③ 薬の数が合わない時
 ④ 薬を飲み忘れた時 ⑤ 何の薬か分からなくなった時
 ⑥ 指示された飲み方が、患者の生活習慣と合っていない時
 ⑦ その他()
- 15 薬に関して相談できる薬剤師がいますか。
 ① いる ② いない
- 16 薬剤師の訪問薬剤管理指導についてご存知ですか。
 ① 知っている ② 知らない
- 17 (1) 薬剤師がもっと在宅患者の薬剤管理に関わってほしいと思いますか。
 ① 思う ② 思わない

(2) (1)で①を回答された方にお尋ねします。薬剤師が訪問するとしたら、何を相談したいですか。(複数回答可)

- ① 薬の使い方
- ② 薬の効能効果
- ③ 薬の副作用
- ④ 薬の名前
- ⑤ 薬の保管方法
- ⑥ 薬に関する要望・苦情
- ⑦ その他()

(3) (1)で②を回答された方にお尋ねします。薬剤師による訪問薬剤管理指導を必要と思わない理由は何か。

18 在宅患者の薬剤管理に関して、自由に意見をお書きください。

在宅患者の薬物療法に関するアンケート

所在地の市・町名:

◎ 該当する番号に○を付けてください。「その他」を選ばれた場合は、()内にその内容を具体的に記入してください。

- 1 在宅医療の経験年数
 - ① 3年未満
 - ② 3～5年未満
 - ③ 5～10年未満
 - ④ 10年以上
- 2 ケアプランに「薬剤師居宅療養管理指導」を入れたことがありますか。
 - ① ある
 - ② ない
- 3 (1) 利用者が複数の医療機関に受診しているかどうかを把握していますか。
 - ① 全て把握している
 - ② だいたい把握している
 - ③ 把握していない
- (2) (1)で①、②を回答された方にお尋ねします。利用者が医療機関から処方されている薬について、全て把握していますか。
 - ① 全て把握している
 - ② だいたい把握している
 - ③ 把握していない
- (3) (2)で①、②を回答された方にお尋ねします。利用者の薬について把握するために、お薬手帳を活用していますか。
 - ① はい
 - ② いいえ
- 4 (1) 利用者の薬の使用・管理の状況について、問題だと思いませんか。
 - ① ある
 - ② ない
- (2) (1)で①を回答された方にお尋ねします。それはどんなことですか。(複数回答可)
 - ① 飲み忘れている
 - ② 飲み間違えている
 - ③ 自分の判断で回数や薬の量を加減している
 - ④ 薬が飲みにくい
 - ⑤ 利用者又は家族が使用方法について正しく理解していない
 - ⑥ 薬の保管が適切でない
 - ⑦ 利用者又は家族が薬の管理・服薬の確認をしていない(できない)
 - ⑧ 複数の医療機関から、重複して薬をもらっている
 - ⑨ 保健師・看護師・介護員等の助言を聞き入れない
 - ⑩ その他()
- 5 (1) 利用者は、指示どおり薬を飲んでいますが。
 - ① 思う
 - ② だいたい指示どおり飲んで思う
 - ③ 思わない

(2) (1)で②、③を回答された方にお尋ねします。指示どおり飲んでいない理由は何ですか。(複数回答可)

- ① 飲み忘れている ② 飲み間違えている ③ 飲みにくいから飲んでいない
 ④ 飲み方や薬の種類がよく分かっていない ⑤ 効かないと判断して飲むのを止めている
 ⑥ 症状が良くなったと判断して飲むのを止めている
 ⑦ 薬の量が多いからと飲むのを止めている
 ⑧ その他、自分で薬の飲み方を判断している
 ⑨ その他()

6 (1) 利用者の薬物療法で、トラブルが起きたことがありますか。

- ① ある ② ない ③ よく分からずない

(2) (1)で①を回答された方にお尋ねします。それはどのようなことですか。(複数回答可)

- ① 利用者が指示どおり薬を飲まない ② 薬の保管方法等がずさん
 ③ 他の医療機関から処方された薬の内容が把握できない
 ④ 重複投薬や併用すると副作用の出る薬のチェンジができない
 ⑤ その他()

7 利用者の薬物療法で、副作用と思われる症状を発見したことがありますか。

- ① ある ② ない ③ よく分からずない

8 薬の副作用を疑うのは、どんな症状ですか。(複数回答可)

- ① 便秘 ② 下痢 ③ 吐き気 ④ 尿が出にくい ⑤ 湿疹 ⑥ 手足の震え
 ⑦ 口の渇き ⑧ 不眠 ⑨ 眠気 ⑩ 味覚異常
 ⑪ その他()

9 副作用と思われる症状を発見した時に、どのように対応しますか。

- ① 医師に相談 ② 薬剤師に相談 ③ その他()に相談
 ④ 訪問者の判断で処置
 ⑤ その他()

10 副作用発生時の対応で、日頃困っていること、難しいことは何ですか。

- ① はい ② いいえ

(2) (1)で②を回答された方にお尋ねします。参加させていない理由は何ですか。

- ① 適当な薬剤師を知らない ② 薬剤師に参加させる必要性を感じない
 ③ その他()

12 薬剤師に相談するのは、どんな時ですか。(複数回答可)

- ① 薬が飲みにくい時 ② 薬を飲んで体調が変わった時 ③ 薬の数が合わない時
 ④ 薬を飲み忘れた時 ⑤ 何の薬が分からなくなった時
 ⑥ 薬を飲むよう指示された時間が、利用者の生活習慣と合っていない時
 ⑦ その他()

13 薬に関して相談できる薬剤師がいますか。

- ① いる ② いない

14 薬剤師の居宅療養管理指導についてご存知ですか。

- ① 知っている ② 知らない

15 500円で薬剤師による居宅療養管理指導ができることを知っていますか。

- ① 知っている ② 知らない

16 (1) 薬剤師がもっと利用者の薬剤管理に関わってほしいと思いませんか。

- ① 思う ② 思わない

(2) (1)で①を回答された方にお尋ねします。薬剤師が訪問するとしたら、何を相談したいですか。(複数回答可)

- ① 薬の使い方 ② 薬の効能効果 ③ 薬の副作用 ④ 薬の名前
 ⑤ 薬の保管方法 ⑥ 薬に関する要望・苦情
 ⑦ その他()

(3) (1)で②を回答された方にお尋ねします。薬剤師による居宅療養管理指導を必要と思わない理由は何ですか。

17 在宅患者の薬剤管理に関して、自由に意見をお書きください。

在宅患者の薬物療法に関するアンケート

住所地の市・町名:

患者の性別: 男 女

記入者: 本人 家族 看護師 保健師 介護員 その他()

◎ 該当する番号に○を付けてください。「その他」を選ばれた場合は、()内にその内容を具体的に記入してください。

- 1 患者の年齢
 - ① 40代未満 ② 40代・50代 ③ 60代 ④ 70代 ⑤ 80代以上
- 2 介護度・支援度
 - ① 要介護1 ② 要介護2 ③ 要介護3 ④ 要介護4 ⑤ 要介護5
 - ⑥ 要介護認定なし ⑦ 要支援 ⑧ 障害者認定 ⑨ 難病認定
- 3 現在服用している薬は何種類ですか。
 - ① 0種類 ② 1種類 ③ 2～4種類 ④ 5～9種類 ⑤ 10種類以上
- 4 お薬手帳を持っていますか。
 - ① はい ② いいえ
- 5 薬剤師の訪問薬剤管理指導を受けたことがありますか。
 - ① はい ② いいえ
- 6 薬は主に誰が管理していますか。
 - ① 患者本人 ② 家族 ③ 介護員 ④ 保健師・看護師
 - ⑤ その他()

7 薬の効果や副作用について、誰から説明を受けていますか。

- ① 医師・歯科医師 ② 薬剤師 ③ 事業所の管理者 ④ 家族
- ⑤ 誰からも説明を受けていない
- ⑥ その他()

8 (1) 薬の説明に満足していますか。

- ① はい ② いいえ

(2) (1)で②を回答された方にお尋ねします。満足していないのはどんなことですか。(複数回答可)

- ① 自分の聞きたい内容に答えてくれない ② 説明が一方的で、よく理解できない
- ③ 説明が専門的過ぎて、理解できない ④ 説明者の勉強不足を感じる
- ⑤ その他()

(3) (1)で②を回答された方にお尋ねします。満足できない時はどうしますか。

- ① 理解できるまで(納得のいくまで)聞き返す ② 適当に答えてそのままにする
- ③ 他の人に聞く
- ④ その他()

9 (1) 薬は指示どおり飲んでいますか。

- ① 指示どおり飲んでいない ② だいたい指示どおり飲んでいない
- ③ あまり飲んでいない ④ 全然飲んでいない

(2) (1)で①以外を回答された方にお尋ねします。指示どおり飲まなかった(飲めなかった)のはなぜですか。

- ① 飲み忘れた ② 飲み間違えた ③ 飲み方は自分で判断している
- ④ 薬が飲みにくい形をしている ⑤ 飲み方や薬の種類がよく分からない
- ⑥ 効かないので飲むのを止めた ⑦ 症状が悪くなったので飲むのを止めた
- ⑧ 薬の量が多い ⑨ 薬が途中でなくなつた
- ⑩ その他()

10 薬の副作用を疑うのは、どんな症状ですか。(複数回答可)

- ① 便秘 ② 下痢 ③ 吐き気 ④ 尿が出にくい ⑤ 湿疹 ⑥ 手足の震え
- ⑦ 口の渇き ⑧ 不眠 ⑨ 眠気 ⑩ 味覚異常
- ⑪ その他()

11 薬の使用・管理について、工夫していることがあったら、記入してください。

内服薬:

外用薬:

注射薬:

12 薬を飲み忘れた時や、飲みにくい時は、どうしていますか。

- ① 医師に相談 ② 薬剤師に相談 ③ その他()に相談
- ④ 誰にも相談しない(自分で判断)
- ⑤ その他()

13 飲み残した薬や飲まなくなつた薬は、どうしていますか。(複数回答可)

- ① そのまま残している ② 捨てている ③ 他者にあげている
- ④ その他()

14 薬を飲んで身体の変常を感じた時は、どうしていますか。

- ① すぐ医師に相談 ② すぐ薬剤師に相談
- ③ そのまま飲み続け、往診時に医師に相談 ④ そのまま飲み続け、誰にも相談しない
- ⑤ 誰にも相談せず、飲むのを止める
- ⑥ その他()

15 医師から処方された薬と、店で買った一般医薬品、サプリメント、健康食品等との飲み合わせを、相談したことがありますか。

- ① 薬剤師に相談したことがある ② 医師に相談したことがある
 ③ 薬剤師以外()に相談したことがある ④ 相談したいが適当な人がいない
 ⑤ 相談する必要があると感じない

16 薬剤師に相談するのは、どんな時ですか。(複数回答可)

- ① 薬が飲みにくい時 ② 薬を飲んで体調が変わった時 ③ 薬の数が合わない時
 ④ 薬を飲み忘れた時 ⑤ 何の薬が分からなくなった時
 ⑥ 指示された飲み方が、生活習慣と合っていない時
 ⑦ その他()

17 薬に関して相談できる薬剤師がいますか。

- ① いる ② いない

18 薬剤師の訪問薬剤管理指導についてご存知ですか。

- ① 知っている ② 知らない

19 (1) 薬剤師がもともと在宅患者の薬剤管理に関わってほしいと思いますか。

- ① 思う ② 思わない

(2) (1)で①を回答された方にお尋ねします。薬剤師が訪問するとしたら、何を相談したいですか。(複数回答可)

- ① 薬の使い方 ② 薬の効能効果 ③ 薬の副作用 ④ 薬の名前
 ⑤ 薬の保管方法 ⑥ 薬に関する要望・苦情
 ⑦ その他()

(3) (1)で②を回答された方にお尋ねします。薬剤師による訪問薬剤管理指導を必要と思わない理由は何ですか。

20 500円で薬剤師による訪問薬剤管理指導が受けられることを知っていますか。

- ① 知っている ② 知らない

21 在宅患者の薬剤管理に関して、自由に意見をお書きください。

在宅患者の薬物療法に関するアンケート

所在地の市・町名: 職種: 看護師 保健師 介護員 その他()

◎ 該当する番号に○を付けてください。「その他」を選ばれた場合は、()内にその内容を具体的に記入してください。

1 在宅医療の経験年数

- ① 3年未満 ② 3～5年未満 ③ 5～10年未満 ④ 10年以上

2 患者は薬剤師の訪問薬剤管理指導を受けていますか。

- ① はい ② いいえ

3 (1) 患者が医療機関から処方されている薬について、全て把握していますか。

- ① 全て把握している ② だいたい把握している ③ 把握していない人もいる
 ④ 全く把握していない

(2) (1)で①、②を回答された方にお尋ねします。患者の薬について把握するために、お薬手帳を活用していますか。

- ① はい ② いいえ

4 患者の薬の効果や副作用について、誰から説明を受けていますか。

- ① 医師・歯科医師 ② 薬剤師 ③ 事業所の管理者 ④ 患者本人又は家族
 ⑤ 誰からも説明を受けていない
 ⑥ その他()

5 (1) 患者の薬の使用・管理の状況について、問題だと思いませんか。(複数回答可)

- ① ある ② ない

(2) (1)で①を回答された方にお尋ねします。それはどんなことですか。(複数回答可)

- ① 飲み忘れている ② 飲み間違えている
 ③ 自分の判断で回数や薬の量を加減している ④ 薬が飲みにくい
 ⑤ 患者又は家族が使用方法について正しく理解していない ⑥ 薬の保管が適切でない
 ⑦ 患者又は家族が薬の管理・服薬の確認をしていない(できない)
 ⑧ 複数の医療機関から、重複して薬をもらっている
 ⑨ 保健康師・看護師・介護者等の助言を聞き入れない
 ⑩ その他()

6 患者に処方されている薬の効果・副作用等について、理解していますか。

- ① 十分理解している ② ある程度理解している ③ あまり理解していない

7 薬の副作用を疑うのは、どんな症状ですか。(複数回答可)

- ① 便秘 ② 下痢 ③ 吐き気 ④ 尿が出にくい ⑤ 湿疹 ⑥ 手足の震え
 ⑦ 口の渇き ⑧ 不眠 ⑨ 眠気 ⑩ 味覚異常
 ⑪ その他()

- 8 副作用と思われる症状を発見した時に、どのように対応しますか。
 ① 医師に相談 ② 薬剤師に相談 ③ その他()に相談
 ④ 介護者の判断で処置
 ⑤ その他()
- 9 副作用発生時の対応で、日頃困っていること、難しいことは何ですか。
- 10 粉砕や、簡易懸濁法にしてはいけない薬があることを知っていますか。
 ① 知っている ② 知らない
- 11 飲みにくい薬を粉砕したり、懸濁したりする場合は、誰が行いますか。
 ① 医師・歯科医師 ② 薬剤師 ③ 保健師・看護師又は介護者(自ら)
 ④ その他()
- 12 医師から処方された薬と、店で買った一般医薬品、サプリメント、健康食品等との飲み合わせを、相談したことがありますか。
 ① 薬剤師に相談したことがある ② 医師に相談したことがある
 ③ 薬剤師以外()に相談したことがある ④ 相談したいが適当な人がいない
 ⑤ 相談する必要があると感じない
- 13 薬剤師に相談するのは、どんな時ですか。(複数回答可)
 ① 薬が飲みにくい時 ② 薬を飲んで体調が変わった時 ③ 薬の数が合わない時
 ④ 薬を飲み忘れた時 ⑤ 何の薬か分からなくなった時
 ⑥ 指示された飲み方が、患者の生活習慣と合っていない時
 ⑦ その他()
- 14 薬に関して相談できる薬剤師がいますか。
 ① いる ② いない
- 15 薬剤師の訪問薬剤管理指導についてご存知ですか。
 ① 知っている ② 知らない
- 16 (1) 薬剤師がもつ在宅患者の薬剤管理に関わってほしいと思いますか。
 ① 思う ② 思わない
- (2) (1)で①を回答された方にお尋ねします。薬剤師が訪問するとしたら、何を相談したいですか。(複数回答可)
 ① 薬の使い方 ② 薬の効能効果 ③ 薬の副作用 ④ 薬の名前
 ⑤ 薬の保管方法 ⑥ 薬に関する要望・苦情
 ⑦ その他()
- (3) (1)で②を回答された方にお尋ねします。薬剤師による訪問薬剤管理指導を必要と思わない理由は何ですか。
- 17 在宅患者の薬剤管理に関して、自由に意見をお書きください。

広島県地域保健対策協議会 地域医薬連携における医薬品の適正使用に関する検討特別委員会

委員長 木平 健治 広島大学病院薬剤部
委員 安部 直美 広島県看護協会
有田 健一 広島県医師会
上田久仁子 広島市東保健センター
大久保雅通 広島市医師会
大塚 幸三 広島県薬剤師会
小澤孝一郎 広島大学大学院医歯薬学総合研究科
吉川 正哉 広島県医師会
清水 勢一 広島県歯科医師会
仲本 典正 広島県健康福祉局保健医療部薬務課
難波 利元 広島県健康福祉局保健医療部薬務課
檜谷 義美 広島県医師会

広島県地域保健対策協議会 地域医薬連携における医薬品の適正使用に関する検討特別委員会

広島県薬剤師会サブワーキンググループ

大塚 幸三 副会長
野村 祐仁 副会長
青野 拓郎 常務理事
有村 健二 常務理事
田口 勝英 常務理事
谷川 正之 常務理事
串田 慎也 理事
豊見 敦 理事
中川 潤子 理事
中嶋 都義 理事
(オブザーバー)
木平 健治 副会長
小澤孝一郎 理事